

可視化で見る自然災害との 付き合い方



国土交通省北海道開発局
事業振興部都市住宅課

1. はじめに

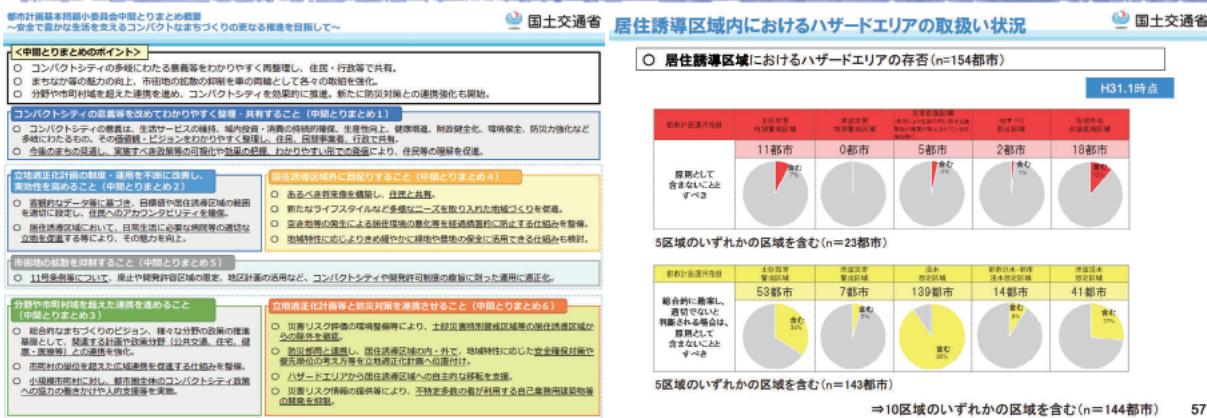
当局での可視化サイトの活用事例と普及活動

- ・自治体との打ち合わせ
- ・立地適正化計画の作成促進キャラバン
- ・都市計画担当者が集まる各種会議で話題提供
- ・可視化ポスターの掲示
- ・可視化サイトの動画紹介

2.キャラバンで可視化サイトを活用したきっかけ

居住誘導区域内にレッドゾーンが含まれている都市がある

昨今、自然災害が頻発・激甚化しており、広範囲わたる土砂災害・浸水等により、多くの人的被害も発生しているなかで、立地適正化計画の居住誘導区域にレッドゾーンを含んでいる都市もあることが判明。



都市計画基本問題小委員会の中間とりまとめでも、土砂災害特別警戒区域等の居住誘導区域からの除外を徹底することが挙げられている。

i-都市交流会議2020

3

3.ハザードエリアの取り扱い

地方整備局の立場としてやるべきことは??

- ◆立地適正化計画を作成する上で、ハザードエリアの分析をしている自治体は多数
- ◆人口分布との重ね合わせをしている自治体はあまりない



その結果、居住誘導区域にハザードエリアが含まれる場合も…



- ◆居住誘導区域の設定時にハザードエリアの取り扱いについても十分に検討してもらう

- ・可視化サイトで、**ハザードエリアと人口分布の関係性を把握してもらう。**
- ・自治体の担当者の方に**今のまちの姿を理解してもらう**ことが重要。

i-都市交流会議2020

4

4.立地適正化計画作成済み自治体との打ち合わせ

今年度は、立地適正化計画制度が創設され5年目！

- ◆立地適正化計画は5年に1度見直すことが望ましい
- ◆道内でも作成済み自治体のなかでレッドゾーンに居住誘導区域を含んでいる自治体もあった

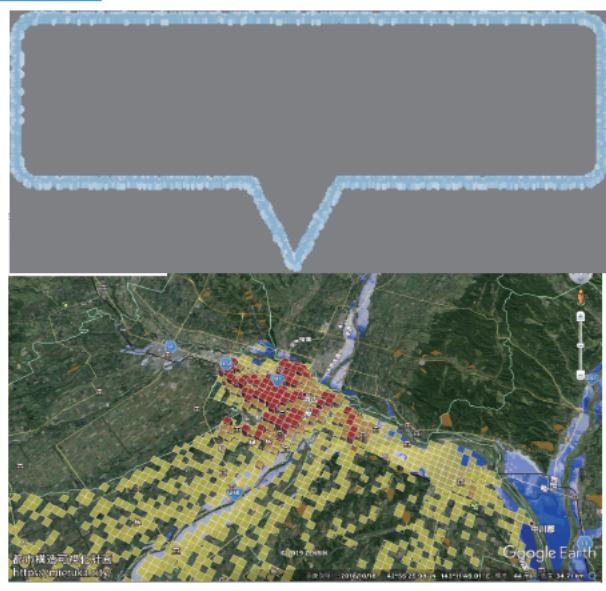
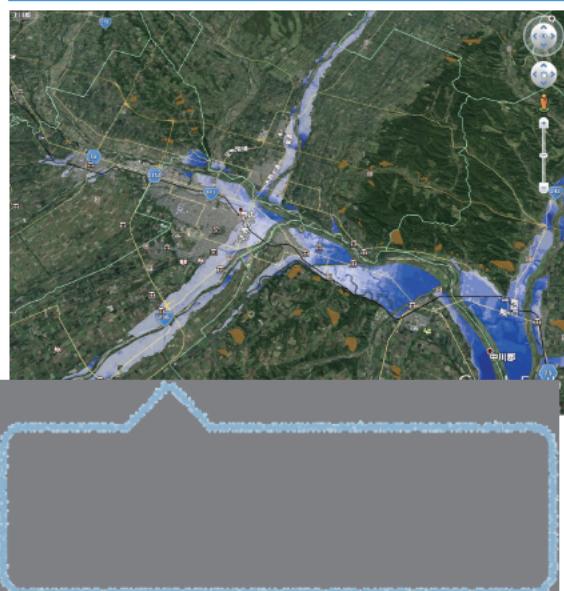
可視化サイトの2次元主題図には、
・都市地域
・用途地域
・DID人口集中地区
・土砂災害危険箇所
・土砂災害警戒区域
・河川浸水想定区域
・津波浸水想定区域
・バス勢圏
・駅勢圏 のデータが入っている！

立地適正化計画作成済み自治体との打ち合わせのなかで、可視化サイトを紹介



5.立地適正化計画作成促進キャラバン実施

キャラバン時の可視化サイトの活用事例



今まででは人口の2次元データとハザードマップを見比べなければわからなかったハザードと人口分布の関係性が、可視化サイトを活用することで一目でわかる！

6.キャラバンを実施して

今後の課題(自治体からの意見など)

- ◆地理院地図に2次元主題図が反映されない
- ◆データが一部古いため、最新のデータにしてほしい
- ・住民説明会で使用できない

- ◆大規模盛土造成地のデータもあると良い
 - ・昨今の災害で、大規模盛土造成地で災害が発生
 - ・ハザードエリアだけではなく、大規模盛土造成地と居住誘導区域の関係性も把握することが重要



- ◆「可視化連絡会」があることを知らなかった自治体も…
 - ・キャラバンで訪問し、初めて連絡会について知った自治体もあったため、当局で積極的に普及活動すべきだった

今年度の反省点を活かし、
来年度以降も可視化サイトの普及活動をすすめていきます！

民族共生象徴空間のご紹介

北海道開発局

民族共生象徴空間が2020年4月24日に
北海道白老町にオープン！！

